

社協からのお知らせ

寄付・物品お礼

ご厚意に深く感謝し、地域福祉向上のために活用させていただきます。記載の方以外にも匿名にて多くの物品をご寄付いただきました。ご支援ありがとうございました。

- 期間
令和3年1月1日から3月31日
- 物品
佐藤 美代子 様 川崎 博子 様
他匿名希望者 (順不同)
コルクボード5枚 タオル45枚
書道半紙4箱 他

臨時職員 募集中！(令和3年度)

広げよう夢
育てよう福祉の心



笑顔・親切・丁寧 をモットーに利用者の皆様の立場に立って心を込めたサービスを行っています。子育てをしながら、あなたの資格が活かせる職場です。

私たちと一緒に働きませんか？あなたの力を待っています！

- ①介護福祉士(デイサービス)…1名
- ②介護福祉士(ホームヘルパー)…1名
※②は正規職員への登用あり。
- ③調理員(デイサービスの厨房業務)…1名

詳しくは 原村社会福祉協議会 ☎0266-79-7228 担当／北原

お気軽に
お問い合わせ
ください！



原村ボランティア連絡協議会 加入者・団体 募集

ボランティア活動を進める団体及び個人の相互の連携と、資質向上を図ると共に活動を通じて住みよい村づくりを推進することを目的としています。現在36団体、2施設、個人13名が加入しています。

会費 なし
※ボランティア保険加入希望者は1名につき年350円が必要になります。
加入方法：申込書を提出します。
(社協のボランティアコーディネーターと面談もできます)
詳しくは 原村社会福祉協議会
☎ 0266-79-7228 担当／関

社協だより No.59 令和3年5月発行

編集・発行：社会福祉法人 原村社会福祉協議会
長野県諏訪郡原村6649-3 原村地域福祉センター内
TEL 0266-79-7228 FAX 0266-79-7093

ホームページ



Find us on



<http://www.haramura-syakyoku.or.jp/>

社協だより

No.59 令和3年5月
原村社会福祉協議会



シトラスリボンプロジェクト



賛同・参加いただける方 自由に持ち下さい！

あなたとの
つながりから
笑顔が生まれる

- ★ 令和3年度のご挨拶
- ★ 令和3年度予算・組織表
- ★ 令和2年度事業のご報告
- ★ おしらせ

原村社会福祉協議会 令和3年度が スタートしました！



令和3年度のあいさつ

原村社会福祉協議会
会長 清水 澄

令和3年度が始まりました。社会福祉協議会は、住民の方々の幸福追求のお手伝いを業としているわけですが、少しでも皆さんにご満足して頂けるよう役職員一同努力をしているところであります。

このところ世情は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に翻弄されて儘ならない状況ですが、この諏訪地方にもその波は押しよせて、本社協では特に免疫力が弱いとされる方々が感染することのない様、万全を期しています。

原村社会福祉協議会は、そのサービスが優れている特定事業所加算を頂けることになりました。社協は、今後もそのサービスを必要としている全ての皆様方に頼られ愛される存在としてまた一般住民にとりましても地域福祉の拠点として進んで行く所存ですので、理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

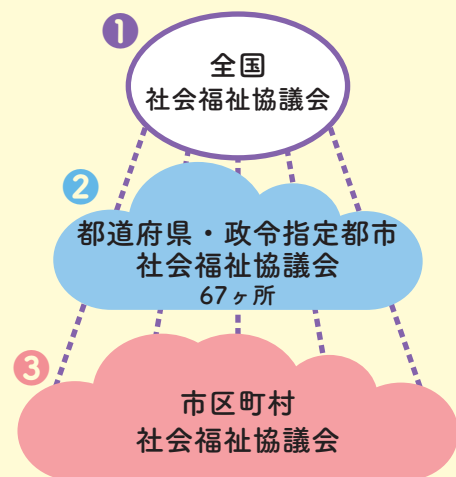
令和3年5月

社会福祉協議会とは、社会福祉法に基づいて全国の市区町村に設置されている民間団体です。略して「社協」といいます。

住民のみなさんとともに、誰もが安心して暮らせる「人にやさしい福祉のまちづくり」をすすめるために、ボランティア活動の支援や在宅福祉サービスなど、地域福祉の推進に関する各種事業を展開しています。

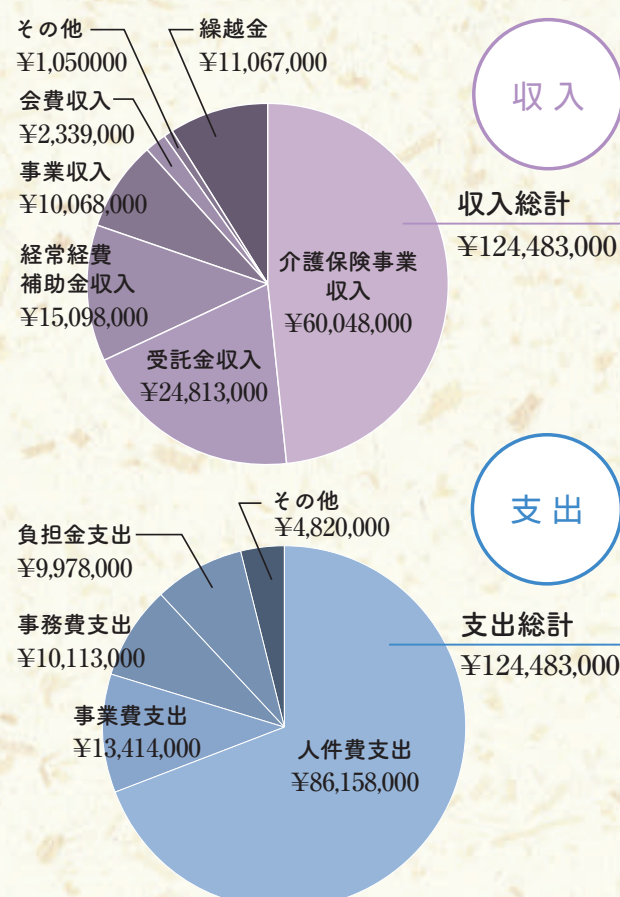


社会福祉協議会マーク



- 1 社会福祉法人全国社会福祉協議会(略称:全社協)は、各市区町村、都道府県・政令指定都市に設置・運営されている社会福祉協議会(略称:社協)の全国組織。所在地は東京都・霞が関です。
- 2 長野県は、長野県社会福祉協議会が県内の市町村社協と連携しています。
- 3 長野県内には77ヶ所の自治体に社会福祉協議会があります。諏訪圏域では、岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の6市町村社協が、ブロック社協として連携をとりながらお互いの福祉事業の向上に努めています。

令和3年度 原村社会福祉協議会 予算



社協な日々

事業のご報告

デイサービスセンター 活がいサロンひばり



ドラムサークル
ファシリテーターの
小倉輝久さんによる
ドラムサークルを
体験しました！

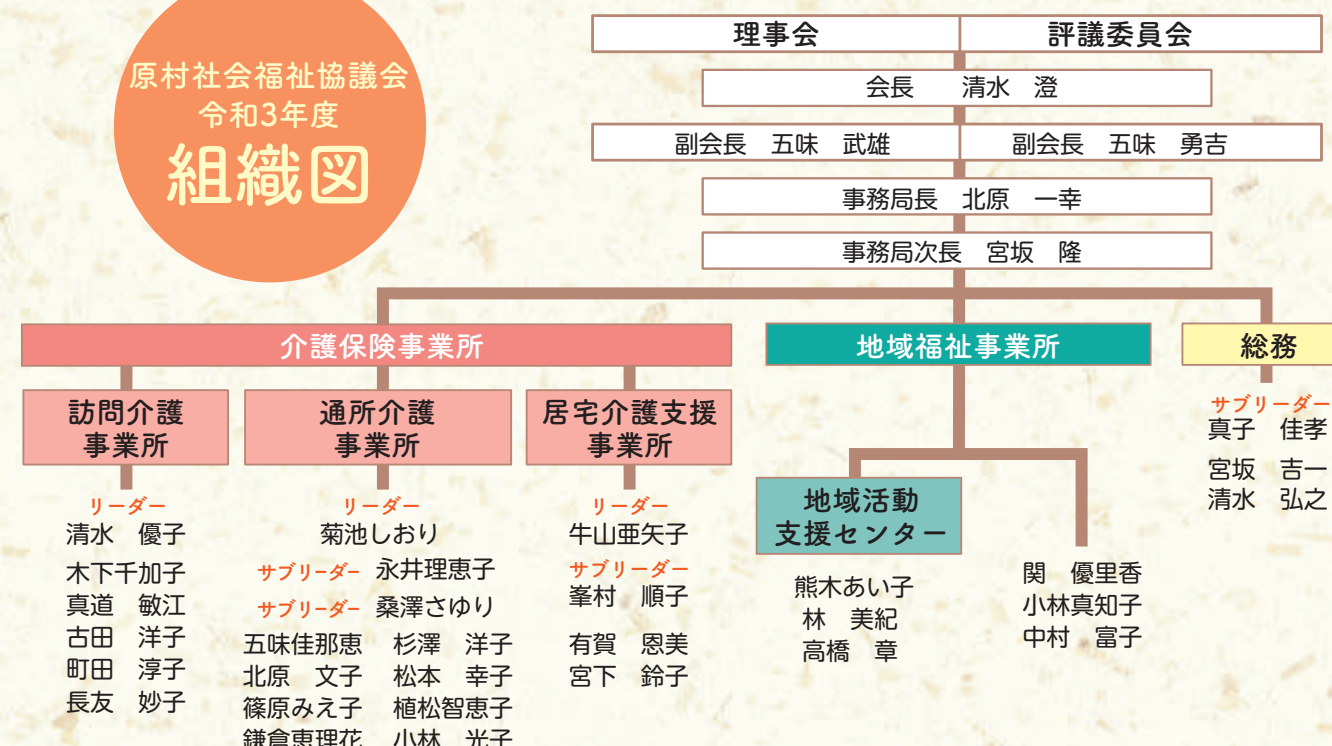


地域活動支援センター

地域活動支援センターを利用している清水優花さんのイラストが、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会が発行する、「障害福祉サービスガイドブック」の中面に採用されました。



原村社会福祉協議会 令和3年度 組織図



令和2年度

家族介護者支援対策事業①

シニアのための料理教室

講師は
原村デイサービスセンター
栄養士の植松智恵子さん



令和3年2月26日(金)に午前・午後と2グループに分かれて開催、27名の方が参加されました。
はんぺん入りつくね、ちくわのマヨネーズ炒め、ブロッコリーの豆腐マヨネーズ添え、マカロニのあべかわの4品を仲間と楽しみながら作りました。
お弁当にセットし、煮こわの桜色に皆さん感激されていました。

家にあるもので出来るのがいいね～



今回は男性も参加！



4品完成

こんなに綺麗な
お弁当が仕上がりました！



仕上がったお料理を盛り付け

美味しく
焼けてます

つくねの形、
上手く出来る
かな



長野日報のおうちストレッチでおなじみの

小林生先生とsmile☺コグニサイズ

先生の笑顔に誘われて
みんなでスマイル



例年開催している『オレンジコンサート』の代替え企画として、運動で体の健康を促すと同時に脳の活動を活発にし、認知トレーニングを行うコグニサイズを開催。2グループに分かれ、32名の方が参加されました。
笑顔を持ち寄り、コグニサイズで会場に沢山の笑顔があふれました。



みんなの輪で会場もスマイルマーク

令和2年度

家族介護者支援対策事業②

人生を元気に 幸せにするセミナー

～幸せになるための
老いじたく～



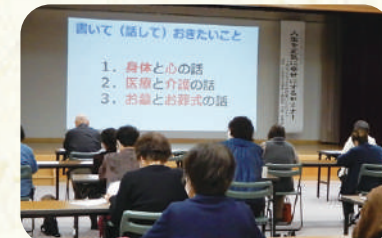
宮澤 優一先生はこんな方



もし認知症になったら…
成年後見制度、知っていますか？

また、「認知症になる事でご本人の人柄や本質ではなく、認知症という病気にしか目がいかなくなるのが悲しい事」と話され、認知症についても考えを深める機会になりました。

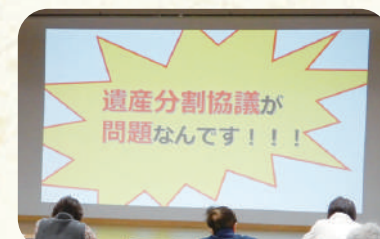
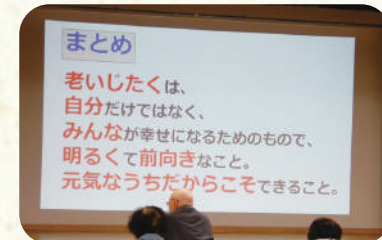
老いじたくの専門家、行政書士の宮澤 優一氏を講師に迎え、令和3年3月17日(水)に開催しました。
ご自身やご家族のために興味深い内容で、参加された23名の方は真剣に聞き入っていました。
エンディングノートは書いてだけでなく、リビングなどに置き、老いじたくについてご家族と気軽に話ができる事、必要があれば書き直すことが大切。元気なうちだからできること、と語られました。



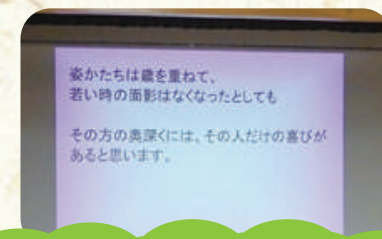
これだけは家族で話しておきたい



ステージ上で情熱的に講演



揉やすいケースをいくつか紹介



その方にとって大切なのは何でしょう



ゆっくり体をストレッチ



音楽に合わせて様々な動きを行いました

みなさん、
本当に体が
柔らかいですね～





福祉教育

原中2学年の80名の皆さんと 「新型コロナウイルス感染症による 差別・偏見をなくそう」

福祉委員さんの「医療従事者の方への差別・偏見をなくしたい!」という思いを受け、令和3年2月18日(木)、19日(金)の2日間実施しました。

1日目は、差別・偏見をなくす『やさしさの連鎖』のお話をし、思いやり・つながり・支え合うために『様々な立場の人の話を聞こう』という趣旨で、諏訪中央病院さんにご協力いただき、ZOOMで学校と現場の看護師さんらと繋ぎ、インタビューしました。

実際に働く方の言葉が皆さんの胸に届いたと思います。

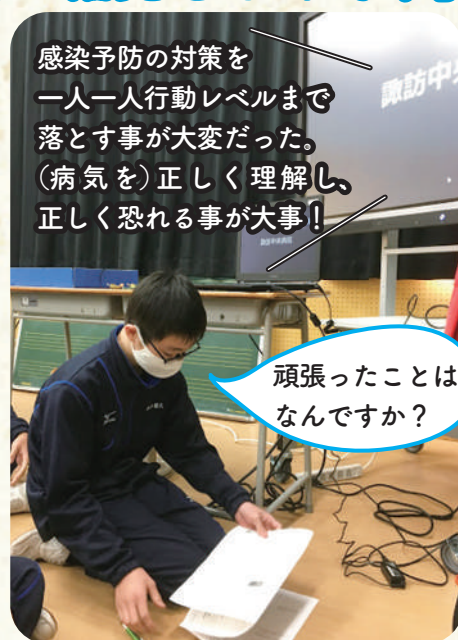


2日目は、クラスごと『シトラスリボン』を作成しました。クラスの皆さんに教えられよう、事前に福祉委員さん達が作り方を覚え、頑張りました。

講師として2名の住民の方をお招きし、作ったりボンは学校や、原村内の施設で配布しました。



※2021年4月～
地域福祉センターなど、
規模を縮小して配布中



頑張ったことは
なんですか?

「シトラスリボンプロジェクト」とは?

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、たとえ感染しても地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指す、愛媛県の有志グループ「ちょびっと19+」が進めるプロジェクトで、長野県も賛同しています。3つ輪は「地域」「家庭」「職場(または学校)」を表現していて、それぞれの場所で差別、偏見を防ぐ意思を示しています。



Citrus
Ribbon
PROJECT

第3回 コロナに負けない! 子ども応援フードドライブ

令和3年2月1日～5日に「賞味期限が1か月以上ある食品」の寄贈窓口を設置し、19名の皆様より223点209.3kgの食品を寄贈いただきました。



「ジャガイモが傷む前に寄贈したい」と問い合わせいただきました
の常温保存できる野菜も受付できます

個包装で
持ち帰りやすい

信州こどもカフェの
ひとつである「ハラカツ!」の
皆様にお菓子を届けました

集まった食品は信州こどもカフェ2か所や、子育て世帯を含む生活にお困りの世帯19世帯へ順次お届けしました。
ご協力ありがとうございました。



2021年 オンライン ボランティア祭



ページを公開& 上映会を実施しました

コロナ禍の中、例年通りの“祭り”の代わりに、ビデオメッセージを集めてYoutubeで公開し、社協ホームページからも再生できるページを作成しました。ボランティア8団体の紹介動画と3名の方のインタビュー動画を撮影しました。
また、写真やテキストメッセージで1施設、5団体、1名に参加いただきました。

動画再生
ページは
こちら↓



令和3年3月12日 上映会



18名の方と
1時間楽しみました

Q. あなたにとって
ボランティアとは?

インタビュー動画より抜粋



傾聴は
人生の
羅針盤



地域に住んでる
人達と一緒に
生きてく為だな



手話でボランティアは
『一緒に歩いてゆく』と表す。
自分も成長できたし、これ
から自分もお世話になる。
優しい方が増えたらいいな。

みんなで原村体操をしよう!



第13回しあわせ信州ご当地体操ビデオコンテストにエントリーし受賞はできませんでしたが、『重要な運動要素を網羅的に含む完成度の高いご当地体操』と審査員の方から高評価をいただきました。これからも地域の健康推進のため、みんなで原村体操をしましょう!

作ってみよう! 新聞棒



カラーのガムテープを使い
体操用のオリジナル新聞棒
が作れます。